

ウィーン国立歌劇場の日本公演が開幕

2016/10/25 23:32 | 日本経済新聞 電子版

世界屈指のオペラの殿堂「ウィーン国立歌劇場」の日本公演（主催＝日本経済新聞社、公益財団法人日本舞台芸術振興会）が25日、東京・上野の東京文化会館で開幕した。4年ぶりの来日公演となる初日の演目は、R・シュトラウスの名作「ナクソス島のアリアドネ」。巨匠マレク・ヤノフスキが25年ぶりに同歌劇場を指揮した。

「ナクソス島のアリアドネ」は28、30日にも上演。このほか、アダム・フィッシャー指揮のワーグナー「ワルキューレ」は11月6、9、12日に同会館で、リッカルド・ムーティ指揮のモーツァルト「フィガロの結婚」は11月10、13、15日に神奈川県民ホール（横浜市）で上演される。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.